

ダイバーシティとは 簡単まとめ



※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご利用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2025年5月時点の内容となっております。最新の情報は国の資料等をご確認ください。

ダイバーシティの定義と背景

・意味：「多様性」。性別・年齢・人種・国籍・宗教・障害・働き方など多様な人が共存する状態。

・背景：

少子高齢化・人手不足に伴う多様人材の活用

働き方・キャリア観の変化（副業・フリーランス増）

グローバル化・IT技術進展による多国籍チームの必要性

インクルージョンとの違い

用語	定義
ダイバーシティ	異なる人材が組織に存在する状態
インクルージョン	多様な人材が尊重され、活躍できる環境

※「多様性の受け入れと活かす仕組みの両立」が組織に必要です。

政府の取り組み：ダイバーシティ2.0（経産省）

- 目的：表面的な多様性から脱却し、個々の能力を最大限活かす経営へ

- 主な7つの行動指針（抜粋）：

経営戦略への組み込み（ポリシー明確化）

推進体制の構築（経営層巻き込み）

ガバナンス改革（取締役会の多様性）

制度整備（働き方改革・人事制度見直し）

管理職の行動・意識改革（多様性を活かすマネージャーの育成）

社員の行動・意識改革（多様なキャリアパスの構築）

情報開示と対話

| ビジネス上のメリットと注意点

メリット	注意点
・イノベーション創出 ・競争力・採用力の強化 ・働きがい向上	・無意識の偏見（アンコンシャスバイアス） ・制度不備による不満の蓄積 ・属性一括りによる誤解